

日本ハッピーハロウィン協会 SDGs ガイドブック

～未来のために、ハロウィンができること～



日本ハッピーハロウィン協会

SDGsって何のこと??

■ Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で、世界のリーダーによって決められた国際社会共通の目標です。17の持続可能な開発目標とそれをより具体化した169のターゲット（目標）が設定されており、いずれも2030年までの達成を目指しています。日本ハッピーハロウィン協会は2010年の設立。2020年の設立10周年でこのSDGsにもとずいた目標を作成し、設立20周年になる2030年には達成することを目指していきます。



日本ハッピーハロウィン協会のSDGs

「未来のために、ハロウィンができること」

をスローガンにし、協会がハロウィンイベント参加者と
一緒に目標達成への取り組み

「社会・地域・国際貢献に取り組む」

「SDGsきっかけに新たな団体・企業とつながっていく」

ことを目指していきます。



ハロウィンでもSDGsが可能なことをご存知でしょうか？

すでに当協会では2010年に第1回ジャパンハロウィンを開催しSDGsの活動を宣言しています。また、地域主催のハロウィンイベントでもキリシマハロウィンやサカエハロウィン、エキナンハロウィン、六甲アイランドハロウィン、こくらハロウィンなどで活動がスタートしています。

HALLOWEEN SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GHOULS



ハロウィンではSDGsのアイコンも仮装します



HALLOWEEN SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT **GH**OULS



キャラクターズ SDGs

<https://socialcompass.jp/archives/1128>



本当はNGですがこんなお遊びをしながら活動をPRできることもあります。
活動成果ができればきっと国連も認めてくれるかも？



貧困をなくそう

世界の主な目標

■あらゆる場所の、あらゆる貧困を終わらせます。

★ハロウィン協会が今やっていること

- 災害時の寄付活動
- 子ども食堂の支援

★日本ハッピーハロウィン協会が今後できそうなこと

- こどもの支援に関する各種寄付活動
- ハロウィンのお菓子を子ども食堂に提供など

※厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」に基づく

日本の状況

■日本でも6人に1人が「相対的貧困※（国全体の生活水準と比べて貧しい生活をしている人がある）」と言われており、無関係ではありません。



子供食堂などでハロウィンで余ってしまったお菓子を子供たちへ





飢餓をゼロに

世界の主な目標

- あらゆる場所の、あらゆる貧困を終わらせます。
- 持続可能な農業を進めます

★ハロウィン協会が今やっていること

- 災害時の寄付活動
- 子ども食堂の支援

★ハロウィン協会では今後できそうなこと

- 食の収穫を祝う農業体験イベントなどの実施開催支援
- さまざまな食育支援 など

日本の状況

- 2018年度のカロリーベースの食糧自給率は37%※であり、食料の確保は身近な課題になっています。



世界中では9人に1人が常に栄養不足で苦しんでいます。※国連食糧農業機関（FAO）





すべての人に健康と福祉を

世界の主な目標

■あらゆる場所の年齢すべての人の健康的な生活を確保します。

★ハロウィン協会が今やっていること

■スニーカーウェンズディの実施

■高齢者雇用促進

■自主事業の実施

■車いすハロウィンの実施

★ハロウィン協会では今後できそうなこと

■フレイル予防・管理栄養士などとコラボした活動

■スポーツとハロウィン

ハロウィンウォーキングパレード

ハロウィンスポーツ鬼ごっこなど

日本の状況

■国民医療費は約43.1兆円であり増加傾向にありますまたそのうち65歳以上は約26兆円となっており、全体の約6割を占めています※。



栄養バランスに気をつけた食事や日頃の運動習慣が、健康維持に役立つ





質の高い教育をみんなに

世界の主な目標

■すべての人が平等に教育を受けられるようにし、生涯にわたって学習できる機会を増やします。

★ハロウィン協会が今やっていること

- ハロウィン研究資料の共有と公開
- スマイルハロウィン研修の励行

★ハロウィン協会では今後できそうなこと

- 教育に関連する寄付活動
- ハロウィン教育プログラム作成
- 発展途上国の学校づくり支援

※文部科学省「文部科学統計要覧（平成31年版より）」

日本の状況

■国民医療費は約43.1兆円であり増加傾向にあります。またそのうち65歳以上は約26兆円となっており、全体の約6割を占めています※。



発展途上国では、貧困や武力紛争などにより、学校に通えない子供たちがたくさんいます。ましてやハロウィンイベントなどもできません。日本ではあたり前の「学校に通う」ことは、非常に恵まれた環境だからこそで来ていることなのです。





ジェンダー平等を実現しよう

世界の主な目標

■性別による差別を受けない「ジェンダー平等」を達成し、すべての女性や女児の能力強化を行います。

★ハロウィン協会が今やっていること

■ハロウィン仮装の自由化

公序良俗に接しすることなく著しく人を不快にしない仮装であれば創造性を重視し自由である

★ハロウィン協会では今後できそうなこと

■ハロウィン仮装の完全自由化の達成

■仮装上性別を意識したものもあるが、その仮装を差別しない

※世界経済フォーラム（WEF）が公表

日本の状況

■日本は男女格差を図る「ジェンダー・ギャップ指数※」で、153か国中121位（2019年度）となっています。



LGBT 男女格差なくすべての人が参加できる
ハッピーハロウィン





働きがいも経済成長も

世界の主な目標

■すべての人が参加した状態で経済成長し続けることを目指しながら、誰もが働きがいのある人間らしい仕事に、安定的に就けるようにします。

★ハロウィン協会が今やっていること

- 協会員顧客満足度調査実施
- フレックスタイムの導入
- オフィス365やITシステムの見直しによる効率化
- ハロウィンコイン制度

★ハロウィン協会が今後できそうなこと

- AI導入
- テレワーク推進

※労働政策研究・研修機構「データブック国際労働比較2019」にもとずく

日本の状況

■欧州諸国と比較して、年間の平均労働時間が長い傾向があります。



働きがいと経済成長を推進し、季節の行事での楽しみと経済効果を高めます。





産業と技術革新の基盤をつくろう

世界の主な目標

- 災害に強いインフラをつくとともに、産業を持続可能な形で発展させ、世界中でイノベーションを促進します。

★ハロウィン協会が今やっていること

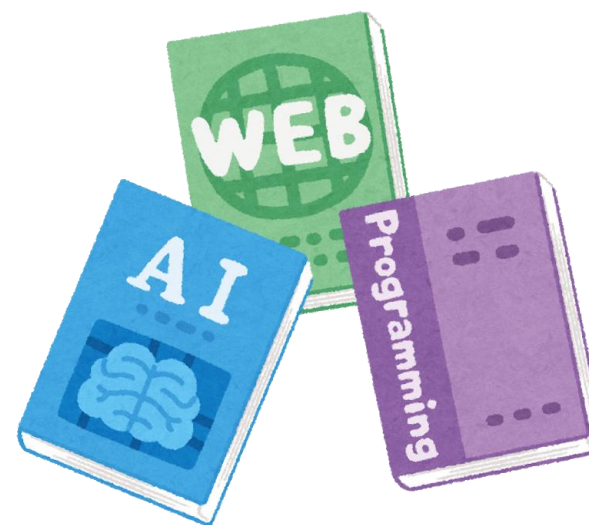
- JACK INNOVATIONによるハロウィンのIT化
- ハロウィンツールのプログラム開発

★ハロウィン協会では今後できそうなこと

- イベントのIT AI導入
- テレワーク・オンラインミーティング
- プロモーションのIT活用 IOOH AR VR
- ドローンによるハロウィンイベント撮影・警備巡回

日本の状況

- IoT 人工知能、ビッグ データなどの先端技術を、あらゆる産業や社会生活に取り入れ、内閣府の提唱する【Society5.0】の実現を目指しています。





産業と人や国の不平等をなくそう

世界の主な目標

- 年齢、性別、生涯、人種、民族、出自、宗教、所得などを理由とした不平等をなくすことを目指します。
- ある国の中だけでなく、国と国との間でも不平等をなくしていきます。

★ハロウィン協会が今やっていること

■外国人のイベント参加

★ハロウィン協会では今後できそうなこと

■外国人との国際交流

■イベントでエコキャップ運動

■高齢者・障がい者の積極参加支援

日本の状況

- 日本に住む外国人は増加傾向にあります。



働きがいと経済成長を推進し、季節の行事での楽しみと経済効果を高めます。





住み続けられるまちづくりを

世界の主な目標

■すべての人が、安全で災害に強い持続可能なまちや住宅に住めるようにします。

★ハロウィン協会が今やっていること

■地域の新しいお祭りとしてのハロウィンイベント開催の推奨

★ハロウィン協会では今後できそうなこと

■BCPの見直し

■地域活性化整備

■定期イベント開催で住み続けたくなる街づくりの支援

日本の状況

■IoT 人工知能、ビッグ データなどの先端技術を、あらゆる産業や社会生活に取り入れ、内閣府の提唱する【Society5.0】の実現を目指しています。



季節の行事での楽しみと経済効果もあり
住み続けたくなる街づくりの支援をしていきます。





つくる責任 つかう責任

世界の主な目標

- 廃棄物を減らすために、持続可能な方法で生産し、消費する形態を確保します。
- つくる人もつかう人も、全員が意識して、自然と調和した生活を送るようにします。

★ハロウィン協会が今やっていること

- 環境のよい材料やリサイクルできるツールの活用
- 仮装衣装のリサイクル・リメイク
- ペーパーレス推奨 ■ゴミの分別徹底の提案

★ハロウィン協会では今後できそうなこと

- フェアトレード商品の積極的購入とエシカル消費の推進
- イベントツールのリサイクル・リメイク使用の推

※農林水産省 「食品廃棄の発生量」 （令和28年度推計）より

日本の状況

- 家庭や店舗から出ている食品ロスは、日本国内で年間約643万トンにのぼり※、1人1日あたりに換算すると、茶碗1杯分（139g）のご飯の量に相当します。





陸の豊かさを守ろう

世界の主な目標

■陸の生態系を守り、持続可能な形で利用し、森林をきちんと管理して、砂漠化や干ばつなどにより、土地が悪くなることを食い止めます。

■外来種の侵入を防止するとともに、外来種による陸域・海洋生態系への影響を減らすための対策を導入します。

★日本ハッピーハロウィン協会が今やっていること

■ケルト文化にもとづく森林崇拝

■森林を大切にする活動

★日本ハッピーハロウィン協会では今後できそうなこと

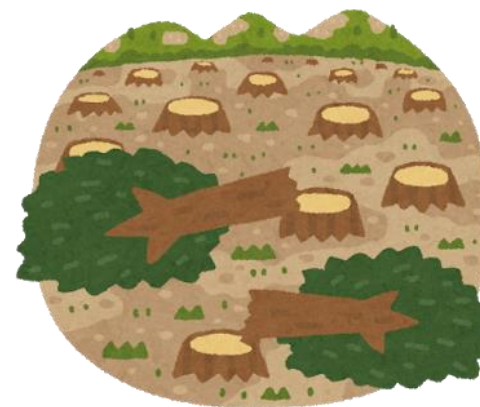
■植樹活動

■かぼちゃの収穫体験などの農業体験イベントの実施

■森林を守るプロジェクト（森林保護活動の啓蒙）

日本の状況

■日本の野生動植物の約3割が絶滅の危機に瀕しているといわれています※



一年間で消える世界の森の面積約330万ヘクタール
一分間に東京ドームの約1.3個分





平和と公正をすべての人に

世界の主な目標

- 平和ですべての人が参画できる社会を作るとともにすべての人が法律に基づいた裁判や手続きを利用できるようにします。
- あらゆる場面のすべての形の暴力を減らしていきます。

★ハロウィン協会が今やっていること

- イベント時に、地域防犯活動として任意パトロール（サカエハロウィン・オアシス21・大須商店街等）

★ハロウィン協会が今後できそうなこと

- イベント時の暴力撲滅活動
- 防犯パトロール強化支援・防犯動画マニュアル等作成
- ドローンやロボットによるハロウィンイベント警備巡回
- オレンジリボン運動とのコラボ活動

日本の状況

- 児童虐待については、児童相談所での虐待対応件数が、過去最多の159,850件となっています。※



平和と安全な暮らしの中でのハロウィンイベントを楽しむことが大切です。。





パートナーシップで目標を達成しよう

世界の主な目標

- SDGsを達成するための実施手段を強化し、世界中の国が協力することを目指しています。
- 政府だけでなく、様々な団体や企業との協力・協働を推進します。

★ハロウィン協会が今やっていること

- SDGsをテーマにしている地域のハロウィンと連携
- ジャパンハロウィンサミット for SDGsの開催

★ハロウィン協会では今後できそうなこと

- 地方創生SDGs官民連携プラットフォーム登録
- SDGsを通じて異業種・他団体とのパートナーシップ構築
- JAPAN HALLOWEEN SUMITの継続開催

日本の状況

- SDGs 目標達成のため 行政 企業 NGOやNPO 大学・研究機関などのパートナーシップを深める
「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」を設立しています。

